

Infection and Immunity in Childhood

小児感染免疫

2004. Vol.16 No.3

■提　言.....	牛島廣治 243
■原　著	
牛乳アレルギーの経過中に toxic shock syndrome 様	
症状を呈した2カ月女児例.....	三浦健一郎, 他 245
最近の細菌性髄膜炎の治療.....	平林靖高, 他 251
肺炎球菌が分離された小児気道感染症の臨床的 および細菌学的検討.....	後藤研誠, 他 261
生後3カ月未満の乳児の発熱に関する臨床的検討	齋藤奈穂子, 他 269
小児の細菌性腸炎.....	松永健司 275
小児のウイルス性胃腸炎.....	松永健司 281
北九州市における小児科外来でみられた アデノウイルス感染症の疫学と臨床—疫学.....	佐久間孝久 287
北九州市における小児科外来でみられた アデノウイルス感染症の疫学と臨床—臨床.....	佐久間孝久 295
■第11回 食細胞機能異常症研究会	306

事務局からのお知らせ

ICD 制度協議会	310
ICD 制度規則	312
ICD 講習会開催日程 (平成17年度)	318
投稿規定	320
編集後記	321

第36回 日本小児感染症学会プログラム

日本小児感染症学会

Japanese Society for Pediatric Infectious Diseases

投 稿 規 定 (2002 年 11 月改定)

1. 論文（原著、症例報告）は小児感染症・免疫ならびにこれに関連するもので、他の雑誌に未発表のものに限ります。
2. 本会会員は誰でも投稿できます。共著の場合は共著者もすべて会員でなければなりません。ただし、編集委員会が依頼した原稿についてはこの限りではありません。
3. 原稿の採否は、査読の後、編集委員会において決定します。
4. 論文の表紙には、標題（和文、英文）、Key word 5語以内（なるべく日本語）、著者の姓名（ローマ字併記）、所属、郵便用宛名を明記し、原稿枚数、図・表・写真の枚数を記載して、必ず原稿にはページを入れて下さい。
5. 原稿は表紙、要旨（200字以内）、本文、図、表、写真、など含めて正1部、副2部をお送りください。
副本はコピーでも結構ですが写真是オリジナルプリントに限ります。
6. 原稿枚数・執筆について
 - 1) 原著論文 30枚以内（刷上り8ページ）
 - 2) 症例報告 15枚以内（刷上り4ページ）
 - 3) 速報 15枚以内（刷上り4ページ）

上記原稿枚数は400字詰原稿用紙で図表、文献を含んだ枚数です。ワードプロセッサー、英文原稿もこれに準じます（ワープロ使用の場合はFDまたはCDを付けてください）。
 - 4) 内容は平易明瞭な口語体・現代仮名遣いで簡潔に、欧文はタイプまたは活字体で記してください。
 - 5) 度量衡は km, m, cm, mm, μ , m μ , l, 100 ml, ml, kg, g, mg, μ g, mEq/l, mg/100 ml など、数字は算用数字（1, 2, 3, など）を用いて下さい。
7. 掲載料について
 - 1) 掲載料は1編につき1万円とします。
 - 2) 印刷費は刷上り4ページまでは学会負担とし、4ページを超えた場合は1ページにつき1万円の自己負担とします。
8. 図、表、写真について
 - 1) 図、表、写真是本文に貼り付けないで、必ず1枚ずつB5判大別紙に貼りつけて下さい。
 - 2) 図は墨または黒インクで清書したもの、あるいはキャビネ大的紙焼き写真でそのまま製版できる鮮明なものにして下さい。
 - 3) 写真については手札以上の鮮明なものをお願いします。また写真も図として番号を付けて下さい。
 - 4) 図、表、写真是原則として1カラム幅(7cm)まで縮小しますが、情報量が多い場合には、申し出により最大2カラム幅(15cm)までとします。
9. 文献は本文の終わりに引用順に記して下さい。
(原則として原著論文は必要最少限に、症例報告および速報は10点以内)
表記形式は下記の通りです。厳守して下さい。
 1. 雑誌の場合一著者名：雑誌名（省略形）。巻：初頁—終頁、発行年
 2. 単行本の場合一著者名：書名（編者名）。発行所、発行地、発行年、初頁—終頁
なお、引用文献の著者名は筆頭者のみで、複数の場合は他または et al を付して下さい。
10. 別刷は30部まで無料、それ以上御希望の場合は、50部単位で実費にて作製いたします。
11. 送付先：〒106 東京都港区南麻布5-6-8 日本子ども家庭総合研究所所長室気付 日本小児感染症学会
簡易書留（投稿原稿在中と表記し）で郵送して下さい。